



JARL 青森県支部ニュース



◇発行：JARL 青森県支部 ◇発行責任者：JR7GBL ◇掲載責任者：JO7GVC ◇編集責任者：JK7LXU



年頭あいさつ



目標を目指して

JARL 青森県支部長 JR7GBL・平川正敏

謹賀新年

JARL 青森県支部各局に於かれましては、新しい年を迎えられお慶び申し上げます。加えて、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

JARL 青森県支部は皆様のご理解ご協力を賜りながら平成 27 年度支部事業を推進していく方針です。

★年 3 回の技術講習会が事業の目玉★

5 月「第 13 回津軽海峡コンテスト」、6 月「登録クラブ、監査指導、支部役員合同会議」、7 月「第 9 回オール青森コンテスト」、9 月「青函交流・渡島松山支部大会に参加」、10 月「登録クラブ、監査指導、支部役員合同会議」「第 43 回 JARL 青森県支部大会とハムの集い」、12 月「登録クラブ代表者会議」、年間 3 回の技術講習会が主な事業計画となっています。

目玉は年間 3 回の技術講習会（8 月、11 月、平成 28 年 3 月）です。アマチュア無線のデジタルモード・JT65HF RTTY SSTV。新しい出会い・FCC（米国アマチュア無線免許）に挑戦しませんか。PC・スマホ活用などアマチュア無線の様々な楽しみ方を追求する技術講習会を目指しています。

CQ 誌、専門雑誌、ネットなどで解説記事は沢山ありますが、なかなか理解出来ない箇所が多々あります。担当講師は各局のレベルに合わせ具体的に初歩から分かりやすい技術講習会を目指します。

技術講習会に関連して 9 月「青函交流・渡島松山支部大会に参加」は、デジタル通信、リモート技術など先進的な取り組みが盛んな北海道各局との技術研修を兼ねた交流会を目標にしています。

★国内外コンテストに挑戦を★

支部主催のコンテストや国内外のコンテストに挑戦しましょう。これまで各コンテストに参加してきた局は、更に目標をセットして頑張ってみましょう。JARL 青森県支部大会では国内外各コンテスト上位入賞局（2014 年実績の申請局）の表彰を予定しています。

★非常時の体制整備へ★

結びに「日本赤十字社青森県支部アマチュア無線奉仕団」の再構築に向けて、県内ネットワーク構築、災害教護訓練など他県に遅れた部分のレベルアップを目標に JARL 青森県支部も全力で取り組みます。

JARL 青森県支部各局に新たにお願ひ申し上げます。年頭のあいさつとします。

2 アマ講習会開催へ前進

第 2 級アマチュア無線技士養成課程の開催が実現しそうです。

総務省の意見募集に対して、JARL が歓迎する意見を提出しました。11 月開催の第 20 回理事会で現状報告があり、新年度から 1 エリアで先行実施されそうです。



第 43 回 JARL 県支部大会 & ハム集いスタッフを募集

10 月 3、4 日に八戸市で開催予定の「支部大会 & ハムの集い」のスタッフを募集します。

地域クラブ、登録クラブのほかに一般の JARL 会員の応募をお待ちします。無線の興味のある非会員でも構いません。

(ブロック別の募集人数)

- ・青森ブロック=4 人
- ・弘前ブロック=4 人
- ・八戸ブロック=4 人

(役割分担)

- ・開場運営係=3 人
- ・受付係=2 人
- ・司会係=2 人
- ・宿泊、前夜祭係=2 人
- ・抽選、賞品係=3 人

平成 28 年 6 月に創立 90 周年!! JARL 会員増強アイデアを募集中!!

大正 15 年(1926 年)創立の JARL は、平成 28 年(2016 年)6 月に創立 90 周年を迎えます。このため、同年を中間年とした 3 年間で「JARL 活性化への挑戦期間」とし、会員増強企画を募集することになりました。

JARL 青森県支部では、一般会員の方からアイデアを募ります。県支部ホームページにアクセスして「コメント欄」にアイデア、ご意見などをお寄せください。

JARL 会員には特典があります。右記をチェックして下さい。 http://www.jarl.org/index4_tokuten.htm

種別	入会金	会費(半年分)	会費(1 年分)	会費(3 年分)
正員	1,000 円	3,600 円	7,200 円	20,400 円
社団法人員	1,000 円	5,400 円	10,800 円	30,600 円
家族会員	なし	1,800 円	3,600 円	10,800 円
准員	1,000 円	3,600 円	7,200 円	20,400 円

▲JARL 会員の種別と入会金、会費の金額



冬でも楽しめる移動運用

1月2日、3日に開催された QSO パーティーは如何でしたか？ログ提出締切日は1月30日(金)です。お忘れなく。

新年早々から国内外のコンテストが数多く予定されています。DX 相手のコンテストはハイパワーが主流なため、移動運用では若干不利です。国内コンテストでは逆に移動運用が有利になる場合が多くあります。

しかし、冬季は積雪や暖房などの点で制約が多く、移動運用に踏み切れない方もいると思います。そこで自動車を利用してはどうでしょう。ロケーションの良い駐車場や空き地から、手軽に QRV できるのがモバイル運用の良いところ。ANT などを工夫すれば、常置場所より良い点数が稼げるかも。

★ JJ7LRL・工藤さん作成「収支報告書」★
★ 東北各県支部の提出用シートに採用 ★

前県支部会計幹事の JJ7LRL・工藤孝夫さんが作成した「収支報告書シート」=写真④が、東北各県支部の提出用様式に採用されました。

単式簿記、2伝票制、四半期決算というユニークな会計処理をしている JARL 東北地方本部会計。工藤さんは作業を簡略化するため Excel シートを利用して関数を巧みに組んだ「収支報告書」を作りました。

本来は青森県支部会計だけで利用していましたが、工藤さんの後任となった JK7LXU・石岡洋一さんと、同時期に地方本部会計幹事に就いた JA7BGK・新野弘之さんの四半期ごと報告業務が“ゼロイン”出来ず、同シートを丸ごと E-Mail 送信したのがきっかけです。

その使い易さが新野さんの目にとまり、各県支部会計に推薦されました。既に12月末提出の第3四半期報告書から導入されています。

工藤さんは、永年にわたる県支部会計業務の功績で支部長賞を受け、昨年10月のJARL県支部大会で表彰されています=写真⑤。



第6回

答えは
どれ？

“今さらの4アマ試験”に挑戦！

【法規】

問い=アマチュア局は、自局の発射する電波が他の無線局の運用又は放送の受信に支障を与え、若しくは与えるおそれがあるときは、非常の場合の無線通信等を行う場合を除き、どのようにしなければならぬか、次のうちから選べ。

- 1 要求があれば、直ちに電波の発射を中止する。
- 2 重大な支障を与えるときは、電波の発射を中止する。
- 3 速やかにその周波数による電波の発射を中止する。

- 4 空中線電力を小さくして、注意しながら電波を発射する。

【無線工学】

問い=FM受信機において、受信電波の振幅を一定にして、振幅変調成分を取り除く目的で設けるものは、次のうち、どれか。

- 1 振幅制限機
- 2 周波数弁別機
- 3 スケルチ回路
- 4 ALC回路

答えは1ページの下段にあります